

～その人らしく生きるために～



Humaneness

社会医療法人 関愛会 在宅リハビリテーション通信 2017年

【夏号 vol.7】

あなたのしたい！を応援したい！



再び漁に出たい！



<http://sekiaikai.jp/>



またゴルフをしたい！



また歩きたい！



また釣りがしたい！



好きなものを食べたい！

障がいを負っても、したいことを応援したい！

関愛会の在宅リハビリテーションでは、その人の”したい！”ということ踏まえ、リハビリテーションを展開させていただいています。

人は誰も障がいを負い、突然失われた身体機能をすぐに受け止めることはできません。身体機能の回復は思うように望めない場合もあるかもしれません。しかし、そこで人生が終わるのではなく、その障がいを受け入れた中で、その人のしたいことを見つけ出し、応援するのも私たちの役目と感じております。

利用開始時には、何がしたいのか？何が好きなのか？など、その人らしさを知ることを重視し、現在は無理な状態であっても、過去の趣味や好きなことをお聞きすることで、何か目標となることが見えることもあります。過去に様々な変化を遂げてきたご利用者様方も、必ずしも最初から「〇〇がしたい！」という希望があったわけではありません。身体機能が回復していくにあたって、できなかったことが、少しでもできるようになると望みが見える様になり、行動(気持ち)が変わってきます。

ぜひ、あきらめずに「障がいがあるけど、こんなことがしてみたい！」ということを教えてください。障がいを負っても、視点や環境を整えることで、できることはあるかもしれません。



“家族と共に”活動する外出プログラム



諦めずにチャレンジを続け、「大分駅に行く」という目標を達成しました！

昨年は、「行く自信がない」とのことで、参加出来なかったH様。今回は、ご家族様と訪問リハスタッフのご協力もあり、2年越しの目標である大分駅に行く事が出来ました！レッドコードを使用しての筋力強化や移動スピードを意識しての歩行練習を重ね、屋外歩行練習では、実際にもみの木から幸崎駅まで歩き、耐久性の改善を図り、また、ホームの階段昇降が行えるよう、もみの木の階段昇降（1階⇄2階）練習も行ってきました。出発前は、大分駅に着いたら、車椅子に乗ると消極的な言葉も聞かれていましたが、そんな不安もよそに、大分駅に到着すると3階のフードコートまで歩いて移動することが出来ました！それは、日々の努力の結果だと思います！

レッドコードを用いたの下肢筋力強化運動



屋外歩行練習



H様を担当している訪問リハスタッフも同行し出発！



今回の自信が、今後の活動に！



駅の階段や電車の乗り降り動作は、見守りで行えました！



大分駅に着いてからは、家族様とご一緒にフードコートを歩きました。



自分で注文し、席まで運びました！

ゴーヤのグリーンカーテンが完成しました!!



苗選びからご利用者様に選んで頂き、万弘寺の市で購入しました。



玄関ホール西側の整地もご利用者様主体で行いました。

専用の柵を設置



散水や除草作業も交代で行っています。



待合室の日よけにも大活躍



苗を植えて約1か月半葉は茂り、実が出来始めました。

新人紹介



6月に看護師として入社しました。黒川友紀です。まだ、慣れないことばかりですが、皆さんのお役にたてるように頑張ります。

編集後記

7月上旬に発生した九州北部豪雨、多くの方が被災され復旧の目途も立たず今なお避難所生活を送っています。皆さんにも起こり得る想像を超えた大災害。実際そのような立場になったとき、どのように行動すればよいかわからないから備えておきましょう。避難場所の確認や避難経路、どこに連絡すればよいかなど色々ありますが、一番はご近所の方達との助け合いが必要です。助ける側にも助けられる側にもなる可能性があります。ご近所とのお付き合いは大事にしましょう。



昔の写真展 ～取り組みからご利用者の反応まで～

4月1日～5月30日の2ヶ月間、坂ノ市もみの木にて職員とご利用者を対象に、回想療法を目的に「昔の写真展」を企画し開催しました。

当初、ご利用者を対象に写真募集をしたところ、開始した際は「恥ずかしいわ」「写真を探るのが面倒くさい」との声が聞かれ、開催の1週間は12名程しか集まりませんでした。しかし、実際に展示が始まるとご利用者同士で声を掛け合い、徐々に写真が集まりだしました。最終的には40名近くの方が写真を提供して下さい、大変盛況となりました。

開催期間終了後に、ご利用者と職員を分けてアンケートを実施しました。アンケートの内容で「実際に写真を見て、話をするとその時の様子がありありと見えてくる」や、「写真を見ながら、若い時に知り合っていたこと分かった」等のコメントを頂きました。またご家族様より、「普段は家で殆ど動かないのに、写真を探すと、ために色々な部屋に行き写真を探していた」と、ご自宅での活動量が増えていた等の話を聞くこともできました。職員間でも、職場とは違う一面を垣間見る事で親近感が湧き、よりコミュニケーションが取れるようになりました。

今回を踏まえて今後も、さらに充実した企画を提供させて頂きたいと思っております。



～SMFC (坂ノ市もみの木フィッシングクラブ) 活動報告～

SMFCとは..魚をこよなく愛する者たちの集団である。今回、6月19日にSMFCの活動にて小志生木の浜辺にキス釣りに行った活動を報告します。

今回の活動内容をご利用者様にお話すると、「自分が昔使っていた竿を持って来るわ」や、「キス釣りならテンピン仕掛けがいるで」、「餌は赤ゴカイを買っておいほうがいい」とアドバイスをして頂きました。今回は、浜辺に降りる際、段差が高く、手すりも途中から無い状況下でしたが、ご利用者1人1人降りる工夫をされて安全に移動が行えました。



釣竿の仕掛けも2名のご利用者様が行っていただきました。

右片麻痺のあるA様は竿置きを使用している練習の成果により、片手でリールを巻くことが出来ました。

また、B様は昔使っていたご自分の竿をご自宅から持って来られ、昔みたいに仕掛けを投げてみたいとの希望で仕掛けをご自分で作り、竿を

投げました。砂浜の為、踏ん張りが効かずよろける様子が見られましたが、パイプ椅子に座ったまま投げる動作は安全に行なう事が出来ました。次回のSMFCの活動までの課題が見つかり、今後のリハビリに活かしていきたいと思っております。



今回、釣果は0匹でしたが、SMFCのメンバーは「今日海に来てよかった」、「浜辺に来たのは30年ぶり」、「海の透明さに気分が晴れほれた」等の嬉しいお言葉を頂きました。

今後もSMFCは曜日ごとにメンバーを募集し、色々な釣り場へお出かけする予定です。



職員紹介コーナー



- ①小さい頃の事は?
A:魔法使い
- ②好きな食べ物?
A:ラーメン、焼き肉
- ③好きなスポーツ?
A:バドミントン、バスケットボール
- ④一番大切にしている事は?
A:誠実に
- ⑤仕事への意気込み
A:1つ1つの事を丁寧に取組んでいきます。
- ⑥今後の目標
A:役に立つ資格を取る。

編集後記

皆様、連日猛暑日の中、いかがお過ごしでしょうか。

私の地元では夏祭りに向けて、小学1年生から上は80歳代の高齢者の方が地区の神社に集まって子供や青年に太鼓や小太鼓、横笛の指導を若い世代に伝えています。

年齢を重ねられても、昔からの伝統を若い世代に伝えるという役割がその方のやる気や生きがいに繋がっていると感じました。

坂ノ市もみの木でもご利用者の役割や、やる気を引き出せるような活動や仕掛けを提供していきたいと思っております。

釘宮 明

夏になりました！
「海」「山」「川」に
思いっきり飛び出して
行きましょう！！



発効日:2017年8月1日

編集・発行: こうざきクリニック

訪問リハビリテーション事業所

広報担当: 川江・板井

電話番号: 097-576-1212

FAX 番号: 097-576-1808

E-mail: kouzakihoumon@yahoo.co.jp

漁師として再び



約9か月ぶりに漁師として復職された方のご紹介です。この方は長年漁師としてご活躍されていましたが、脳梗塞を発症し医療機関に入院されていました。入院中も復職を希望されており、動作練習も行われていたようです。退院後、初めて訪問した際も自宅で漁の仕掛け作りをされていました。しかし、9カ月も船に乗っていない為、まず船をドックしなければなりませんでした。

そこで手始めに奥様と一緒に船に乗り込む動作練習を行っていきました。乗り降りや船上の段差昇降時にふらつくことがある為、足の順番をアドバイスしながら練習すると同時に、船に手すりを設置しました。乗り降りの安全面を確認出来、無事に船をドックに出すことが出来た後、今度は実際に漁の動作が行えるのか船を出して確認を行いました。船の操作も行え、沖に出て仕掛けを流し、巻き上げる事が出来ました。この日は動作の確認のみでしたが、その後は奥様と一緒に実際に漁に出て魚を釣られたとの事でした。約9か月ぶりの漁は大変でしたが、魚が釣れた喜びはそれ以上の物だったようです。今後は漁動作の回数を増やしていき問題みられなければ訪問リハビリ修了予定です。以前は一人乗り部門で水揚げ量3位になられたことのある大ベテランです。今後もおいしい魚を我々消費者に提供してくれるのを楽しみにしています。
※漁動作に同船させて頂いたセラピストは若干船酔いしてしまいました…

①自宅で漁の仕掛けづくり



②奥様と一緒に船の様子を見にいきました



③エンジンをかけます！



④奥様と出航です！



⑤実際の漁の動作を行っていただきました。(樽流し漁です)



編集後記

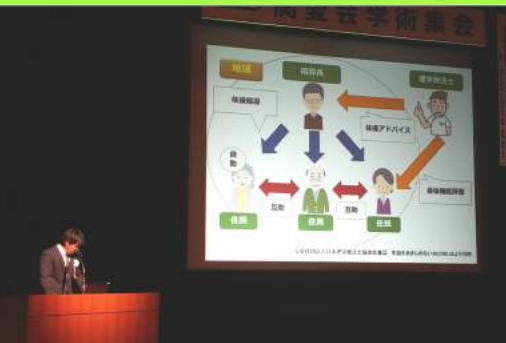
7月15日にコンパルホールで第20回関愛会学術集会在開催されました。「大分市長寿福祉課・大分県理学療法士協会と共同で行ったサロンへの介入～理学療法士が地域住民にできる事～」といったテーマで発表しました。今回の発表を通して多くの方からご助言を頂きました。今年度も引き続き大分市のサロンへ介入する機会を頂きました。地域の特徴を把握し、住民の皆様の寄与できるよう努めていきます。
(編集担当 板井一弘)

地域活動!

「元気」とは生命力が旺盛である様や、気持ちが上向きな状態の事を言うそうです。自ら身体状況が悪くなることを望む方は少ないと思います。また、悪くならないように運動をすることは大切だということも多くの方は知っています。しかし、中々一人では運動を継続するのが難しく、長続きしないといった方が多いのではないのでしょうか!?

セラピストが地域のサロンに出向き、経験したことなどをお話する事で、一人でも多くの方の運動継続にお役立て出来ればと思います。

サロン代表者の方が、「次回から教えてもらった運動をサロンの中でやっていきます」と言って頂き、うれしく思いました。「地域の資源を知ること」、地域の方達の生活を「生き生き」するために、このようにサロンへ出向いていくことが、私たちが出来る一歩であると感じています。



第20回関東会学術集会でその取り組みを発表しました!

関東会在宅リハビリテーション課

介護現場のリハビリがジュージツするリハビリ専門誌 季刊誌「リハージュ」に訪問リハビリ・通所リハビリの取り組みが掲載されました。

Rehaje 介護現場のリハビリがジュージツするリハビリ専門誌 創刊号 7月20日創刊 特別価格 1,000円 (税込) Vol.2より通常価格1,800円(税込)に引き上げます A4版 140頁

リハージュ

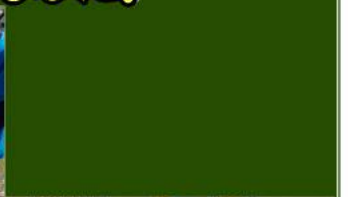
特集1 介護施設・自宅で行える高齢者の疾患別トレーニング

1. 次健骨髄質骨折の方へのトレーニング
2. 骨粗鬆症骨折の方へのトレーニング
3. 変形性膝関節症の方へのトレーニング
4. リウマチの方へのトレーニング

特集2 リハビリ拒否・意欲低下・消極的な方への実践対応術

1. 訪問リハビリテーションでの対応「楽しみある活動を生活圏につなげる工夫」
2. 通所介護での対応「拒否や意欲低下の方への施設全体での取り組み方」
3. デイケアでの対応「拒否・意欲低下の原因と対応のポイント」
4. 介護老人保健施設での対応「運動のきっかけをつくる働きかけや環境設定」
5. 「ご利用者に『運動・参加』に関心を向けてもらうための工夫と対応」

ご予約はこちら



もみの木 オフィシャルブログ「もみの木」の木の下で

☆facebookページもあります☆

★通所リハビリや訪問リハビリでの出来事を情報発信中!

アドレス : http://livedoor.jp/mominoki_reha/



QRコード

こうさきデイケア
リハビリテーションセンター
もみの木 facebook

リハビリ もみの木

検索